

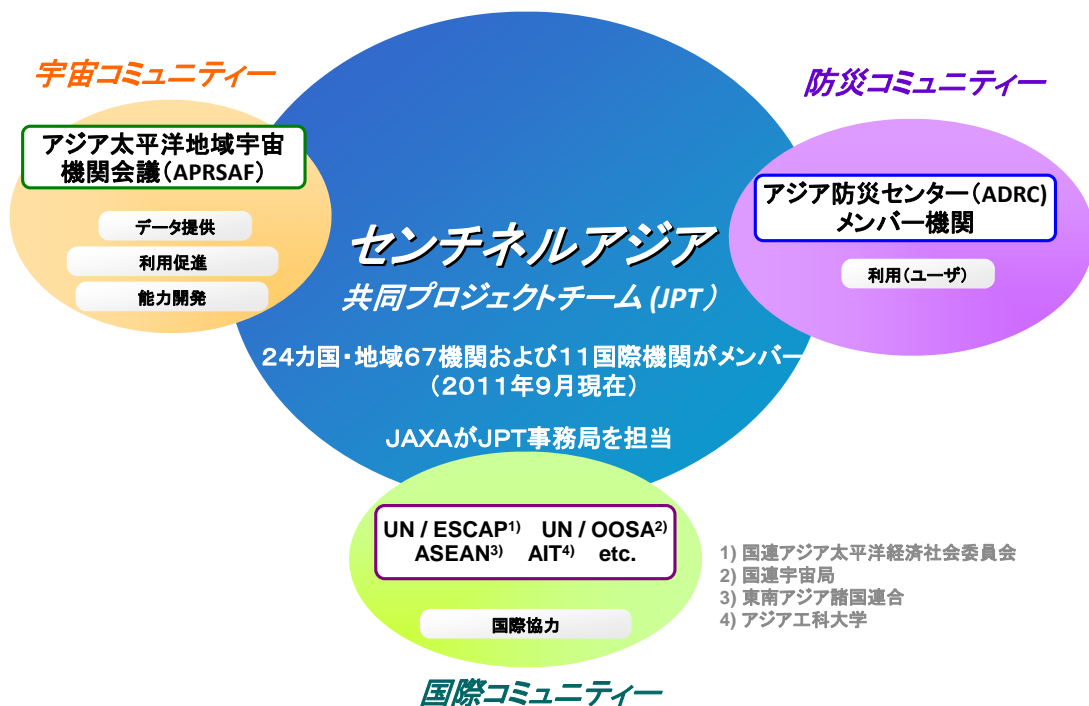
## ■ センチネルアジア

センチネルアジアは、アジア太平洋地域の自然災害の監視を目的とした国際協力プロジェクトである。地球観測衛星などの宇宙技術を使って得た災害関連の情報をインターネット上で共有し、台風、洪水、地震、津波、火山噴火、山火事などの自然災害による被害を軽減し、予防することを目的としている。

センチネルアジアは、2005（平成 17）年にアジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF）において提唱され、翌年にプロジェクトチームが発足した。現在、24 カ国・地域 67 機関、11 国際機関が参加し、その活動は着実に広がっている。

「だいち」が取得した画像も、センチネルアジアに提供し、自然災害が発生した際に被害の把握などに貢献している。国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）との協力や、アジア太平洋地域の各国の防災機関との連携を通じて、アジア太平洋地域の災害監視を支えている。

日本で培われてきた地震・津波情報のシステムや警戒情報の告知システムを広くアジアの諸地域へも普及させていく取り組みとも連動させ、人工衛星から映像を利用した防災活動で、日本の技術や経験を広くアジア地域で共有していこうというのがセンチネルアジアの活動である。（URL <http://sentinel.tksc.jaxa.jp/>）



センチネルアジアの体制